

2025 年 6 月 24 日

ADK グループ、グローバル IP 企業 KRAFTON Inc.の 資本参加による新たな戦略的パートナーシップをスタート

株式会社 ADK ホールディングス(本社:東京都港区、代表取締役社長:大山 俊哉、以下「ADK ホールディングス」)は、グループで推進するファングロース戦略とそのグローバル展開を加速すべく、韓国に本社を置くグローバル IP 企業である KRAFTON Inc.(代表取締役:キム・チャンハン、以下「KRAFTON」)の資本参加による協業を決定したことをお知らせいたします。これは、2025 年 1 月に発表した海外マーケティング事業の再編に伴う米国 STAGWELL との協業に続くパートナーシップとなります。

これに伴い、当社の株式を保有する株式会社 BCJ-31(代表取締役:杉本 勇次、以下「BCJ-31」)の筆頭株主が、ベインキャピタル・ジャパン・LLC(日本代表:杉本勇次、以下、「ベインキャピタル」)が投資助言を行う投資ファンドが間接的に保有している BCPE Madison Holdings Cayman, L.P.から KRAFTON に異動することとなります。

なお、ADK ホールディングス、ベインキャピタル、KRAFTON の三社は、今後もベインキャピタルが出資を継続し、引き続き ADK ホールディングスの経営支援を行うことにつき協議を進めています。

【背景と狙い】

ADK グループは 2017 年 11 月に TOB によりベインキャピタルの関連会社である BCJ-31 が株主となり、2018 年に非上場化、さらに 2019 年 1 月より現在の ADK ホールディングスを持株会社とするホールディングス制に移行しました。その後、各事業会社の特色を前面に出しながら、現在に至るまで事業環境の変化や、広告を中心とした収益構造変化への対応を行ってまいりました。更に、デジタル化によって複雑化したクライアントの事業や広告・マーケティングの課題に応えるべく、組織構造改革やデジタル部門強化に代表されるプロフェッショナル人材の採用強化や待遇改善、積極的な M&A 投資によるグループ会社拡充を実行することにより、競争力を強化し、着実な成長と収益性の向上を実現してまいりました。

今回、米国 STAGWELL に続き、グローバル IP 企業である KRAFTON という戦略的パートナーを得たことにより、中期経営計画の中心に置くファングロース戦略の取り組みを加速させてまいります。ADK グループの広告・マーケティング事業や、特徴であるアニメ・コンテンツ事業と、KRAFTON の有するグローバル IP やネットワーク、テクノロジーおよび資金力等を活かし、お互いのユニークネスを最大限活用した持続的成長が期待できると考えています。これにより、事業を次の成長軌道に乗せ、戦略的な開発・投資余力の創出や社員待遇のさらなる改善を目指していきます。

<KRAFTON 社について>

KRAFTON は、独自のクリエイティビティを持つグローバルな制作スタジオと、ユニークで魅力溢れるゲームを創作し世界中に届けています。絶え間ない挑戦と新しい技術でゲームの楽しさを追求し、より多くのファンに愛されるよう、プラットフォームとサービスを拡大しています。情熱と志を持った仲間と共に成長し、グローバルな市場においてゲーム会社の最高峰を目指しています。

【KRAFTON 社の会社概要】

社名	KRAFTON Inc.
代表者	Changhan Kim
本社	Centerfield, 231, Teheran-Ro, Gangnam-Gu, Seoul, Seoul, 06142
設立	2007 年 3 月
事業内容	ビデオゲーム開発事業

※韓国取引所上場 証券コード KRX:259960 (KOSPI50 構成銘柄)

【株式異動の対象となる法人】

株式会社 BCJ-31 およびその傘下である株式会社 ADK ホールディングスを頂点とするグループ会社

【ADK ホールディングス グループ CEO 大山俊哉コメント】

ADK グループのファングロース戦略は、「広告・マーケティング事業ではクライアントの商品を購入したり、サービスを利用したお客様や、まだ潜在的なお客様、アニメや IP などのコンテンツビジネスにおいては、何らかの形でそのコンテンツに触れた方々をファン化し、育てる」という考え方です。KRAFTON はゲームを中心としたグローバル IP 企業です。両社の強みや培ったノウハウを合わせた戦略的パートナーシップにより、日本市場やグローバルコンテンツ市場での創造的な挑戦と成長が期待できると信じています。

【KRAFTON 代表キム・チャンハン コメント】

ADK は、日本のコンテンツ産業に深い理解を有し、アニメーションの企画・制作、広告、マーケティング、メディア運営など多岐にわたる分野で卓越した専門知識と実行力を備えたパートナーです。ADK との協業を通じて、KRAFTON はゲームとアニメーションの間の多様な接点を継続的に特定し、両社の強みを有機的に融合させることで、グローバルなコンテンツビジネスにおける新たな機会を創造していきます。

【ベインキャピタル・ジャパン・LLC 日本代表 杉本 勇次コメント】

日本有数のマーケティング支援事業者であり、強力な IP を活用し、日本発のコンテンツを世界に発信しているユニークネスを持った ADK グループの歩みをサポートしてきたことを誇りに思います。ADK とベインキャピタルが共に強化してきたデジタルマーケティングとコンテンツビジネスを新たに次のステージへと押し上げ、さらなる成長を実現するために、このたび資本参画する KRAFTON は、ADK グループにとって最良のパートナーであると確信しています。

<ADK グループについて>

ADK グループは、純粋持株会社「ADK ホールディングス」の傘下に、専門性の向上を目的とした 3 つの事業会社「ADK マーケティング・ソリューションズ」「ADK クリエイティブ・ワン」「ADK エモーションズ」を擁しています。事業ビジョンに「ファングロースパートナー」を掲げ、ファンを生み出し、ファンとの絆を深め、ファンと共に新しい価値を生み出すことで、クライアントビジネスの持続的な成長や日本で生まれた IP のグローバルにおける更なる発展に貢献し続けることを目指します。

・ADK ホールディングス ウェブサイト:

ADK グループ主要 4 社について <https://www.adk.jp/about/outline/>

<ベインキャピタル・ジャパン・LLC について>

ベインキャピタルは、投資家、チーム、ビジネスおよびコミュニティに永続的なインパクトをもたらす国際的な投資会社です。1984 年の創業以来、ベインキャピタルは、インサイトと経験を活かし、プライベートエクイティ、クレジット、パブリック・エクイティ、ベンチャー・キャピタル、不動産、ライフサイエンス、保険、その他の戦略的重点分野を含む数多くの投資対象の本源的成長を実現しています。世界 4 大陸に 24 のオフィスを構え、従業員数は 1,850 名を超え、運用資産は約 1,850 億米ドルに上っています。

本件に関する問合せ先

株式会社 ADK ホールディングス 経営企画本部 吉江/後藤/伊藤 e-mail: adkpr@adk.jp